

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	どいいせき							
書 名	土位遺跡							
シリーズ名	県道五個荘八日市線道路整備工事に伴う発掘調査報告書							
編 著 者 名	中村健二・神保忠宏							
編 集 機 関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所 在 地	滋賀県大津市京町四丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月日	平成30年（2018）3月26日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
どいいせき 土位遺跡	しがけん 滋賀県 ひがしおうみし 東近江市 しんでんちょうほか 神田町ほか	25213	205-105	35° 06' 36"	136° 13' 16"	20150413 ～ 20150325	2,330㎡	県道 五個荘八日市 線道路整備工事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
土位遺跡	散布地	奈良時代末～ 平安時代初				瓦・須恵器		
	集落	平安時代～ 鎌倉時代		掘立柱建物・土坑 墓・柵・遺物廃棄 遺構・溝		土師器・須恵器・回転 台土師器・緑釉陶器・ 瓦器・黒色土器・磁器・ 灰釉陶器・刀子・土錘・ 羽口		
	集落	江戸時代		石積堤防		陶器・磁器・煙管・土 製円盤		
要 約	<p>調査の成果は下記のとおりである。</p> <p>①平安時代から鎌倉時代の掘立柱建物、土坑、溝、白磁碗・土師器をもつ土坑墓、土器廃棄遺構などで構成される集落を検出した。集落は10・11世紀頃から12世紀にかけて、愛知川に近い場所へ移動している。</p> <p>②江戸時代後期の堤体の一部と石積護岸を3基確認した。これらは愛知川左岸の石積堤防の一部で、当初、川の流れと平行するように造られているが、その後、石積護岸1のような石出しを築くなど江戸時代の愛知川周辺の人々の知恵と工夫の一端を垣間見ることができる貴重な遺構である。</p>							